

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

資料2

基本目標1 安定した雇用を創出する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成27年度実績値に対する所見
創業支援事業に基づく新規創業件数	0件(平成26年)	5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	平成27年度中に新規創業が3件あったが、創業支援事業計画の認定日が平成28年1月13日であり、それ以降の創業がなかったことから、実績値は0となった。
			実績値	0					
新たな雇用者数	0人(平成26年)	38人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	38	内訳 看護学生修学資金貸与事業:0(旧制度の実績は5)、介護人材育成支援事業:5名(見込)、雇用創出事業:0 ・看護学生修学資金貸与事業は、平成28年度より実施のため、27年度の実績はない。 ・介護人材育成支援事業は、介護人材の育成・確保を目的に社会福祉法人に対し職員の資格取得費用を助成。実績値も前年度を上回る見込みで所期の目的が果たされ有効な施策となっている。 ・雇用創出事業は、助成対象となる施設の新設等がなく、雇用の助成が生じなかった。
			実績値	5					

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成27年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 産業の競争力強化								
1) 農作物のブランド化の推進								
クリーン農業推進事業	特裁米等の作付農家数 ／5戸(平成26年)→20戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	20	平成28年度から実施。 水稲種子温湯殺菌消毒に係る経費の一部を補助し、特別栽培米等を作付する圃場には、補助率をさらにアップし支援を拡大する。
		実績値	—					
2) 6次産業化の取り組みの推進								
農業6次産業化整備促進事業	6次産業実施農家数 ／2戸(平成26年)→5戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	5	平成27年度の実績は2戸であるが、26年度から増減がない。 今後は、農業者に情報提供などの支援を実施するとともに、市としての独自支援について検討を進める。
		実績値	2					
3) 商工業振興策の実施								
商店街空き店舗対策事業	空き店舗解消数 ／5件(5年間)	目標値	1	1	1	1	1	新規創業が3件あったことと店舗の建て替えが1件あったため。今後も本条例の周知の他、創業支援事業計画とも連動させ新規創業を促進する。 なお、国の平成26年度補正予算による地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、総合戦略の前倒し事業として実施した26年度分は、目標値2件に対し、1件となっている。
		実績値	4					
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数 ／5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	平成27年度中に新規創業が3件あったが、創業支援事業計画の認定日が平成28年1月13日であり、それ以降の創業がなかったことから、実績値は0となった。 今後も活動をPRする等により新規創業を促進する。
		実績値	0					
(2) 人材育成、雇用対策								
1) 農業の担い手の確保・育成								
担い手育成支援事業	基盤整備を実施し経営の効率化を図った面積 ／15ha(5年間)	目標値	0	0	5	5	5	平成27年度の実績値は11.58ha。 今後は、関係機関等と協議を進め、平成29年度からの3か年計画を策定するなかで、基盤整備を進めていく。
		実績値	11.58					
農作業受託組織支援事業	農作業受託面積 ／280ha(平成26年)→320ha(平成31年)	目標値	—	—	—	—	320	平成27年度の実績値は295haとなった。 今後は、各関係機関等と協議を進め、受託組織の経営基盤の強化及び新たな受託組織の設立を促進させる。
		実績値	295					
農業後継者Uターン支援事業	市内移住した農業後継者数 ／2人(5年間)	目標値	0	0	0	1	1	平成27年度は1人の実績があった。 今後は、農業後継者(農家の子息等)の情報収集を進め、移住を促進させる。
		実績値	1					
2) 医療従事者の確保・育成								
看護学生修学資金貸与事業	砂川市立病院への就業者数 ／30人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	30	返還免除規定のある新制度は、平成28年度より実施のため、平成27年度の実績はない。 (旧制度の実績は5人)
		実績値	—					
3) 介護従事者の確保・育成								
介護人材育成支援事業	介護資格取得者数 ／15人(5年間)	目標値	3人	5人	3人	3人	3人	研修費を補助することで、介護サービスの質の向上と人材育成・確保を目的に、事業所(社会福祉法人)の理解と積極的な取り組みがあった。今後も継続し介護人材の安定確保に努める。 なお、国の平成26年度補正予算による地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、総合戦略の前倒し事業として実施した26年度分は、目標値3人に対し、2人となっている。
		実績値	5人					
4) 企業立地等の促進による就労の拡大								
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)	施設新設等を行なった企業の新規雇用者数 ／25人(5年間)	目標値	5	5	5	5	5	助成の対象となる施設の新設等がなく、雇用の助成が生じなかった。28年度に、企業支援策をまとめたパンフレットを作成し、事業の周知活動を強化する。 なお、国の平成26年度補正予算による地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、総合戦略の前倒し事業として実施した26年度分は、目標値25人に対し、27人となっている。
		実績値	0					
5) ICTを活用した子どもの育成								
ICT人材育成事業	ICT人材育成事業参加者数 ／319人(平成26年)→440人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	440	平成27年度の実績値は462人の参加者を見込んでいる。 今後も、子どもたちがICTを活用した事業を継続して取り組む。
		実績値	(見込)462					
6) 地元企業と連携したキャリア教育の実施								
ジョブスタート事業	地元の参加企業数 ／15社(平成31年)	目標値	—	—	—	—	15	平成28年度から実施。 28年度は、企業訪問等による事業周知にあわせて、高校の情報提供や企業の現状の聞き取り、インターンシップの意向調査などを行う。
		実績値	—					

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成27年度実績値に対する所見
砂川市の転出超過数	205人(平成26年)	150人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	150	平年通りの見込み。 3月末までに転出し、4月に転入するケースが多い。
			実績値	(見込)200					
観光入込客数	1,329千人(平成26年)	1,342千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1,342	ハイウェイオアシス館と北海道子どもの国の入込客数が減り、前年度比83千人減少である。SICの開設に伴い官民合わせ10事業を実施し、砂川への訪問を回り、9月の入込数は前年度を越えたが、全体的に前年度以下の数値になった。
			実績値	1,246					

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成27年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 移住の推進								
1) 移住定住の促進								
移住定住促進事業	ワンストップ窓口を通しての移住者数 ／6人(5年間)	目標値	0	0	2	2	2	平成27年度のお試し移住体験住宅利用者は7組14名であったが、移住者は0人であった。 平成28年度から、地域おこし協力隊を活用した情報発信等の取り組みの強化、民間の空き家住宅を移住体験住宅として活用し、シーズステイにも対応した事業として、移住定住の促進及び交流人口の増加を図る。
		実績値	0					
農業体験事業	新規就農者数 ／5人(5年間)	目標値	—	0	1	2	2	平成28年度から実施。 今後は事業開始に向け、農業体験受け入れ農家との協議、事業の情報発信等を実施していく。
		実績値	—					
(2) 観光の活性化等を通じた交流人口の増加								
1) 観光振興の推進								
情報発信による観光振興事業	ホームページアクセス件数 ／254,000件(平成26年)→354,000件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	354,000	今年度は特に話題性の高い出来事が重なったほか、6年半ぶりに実施したホームページのリニューアルがアクセス件数増加の要因になったと分析している。 今後も「すながわスイートロード」「ふるさと納税」など市外からも注目を集めるページを中心に積極的な情報提供を行っていく。また、リニューアルを契機に達成済のアクセシビリティ(使いやすさ)の水準を保持するため、制約語句やリンク切れなど基本的な管理も継続して行っていく。
		実績値	320,000					
市街地回遊誘導事業	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	260,000	当初の見込みより観光客数が伸びなかったため。今後はリニューアルしたHP等を活用し、より幅広い観光PRを行っていく。
		実績値	219,917					
地域資源活用促進事業	ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数 ／5,000件(5年間)	目標値	800	900	1,000	1,100	1,200	10年以上継続した活動を行っており、スイートロードの知名度が上がっている事、ふるさと納税が品数を増やし、魅力的な品物をそろえたため。今後も「ふるさと名物」制度も活用しより幅広いPRを図る。
		実績値	1,235					
着地型観光プラットフォーム協議会 DMO事業	DMO加盟団体数 ／10団体(平成31年)	目標値	—	—	—	—	10	中空知5市5町と連携し、DMOの立ち上げについて協議しているが、年度内の設立がされなかったため。今後も設立に向け協議を重ねていく。
		実績値	0					
(3) 高等学校の活性化								
1) 地元学校への進学促進								
砂川高校支援事業	砂川高校入学者数 ／100人(平成27年)→160人(平成31年)	目標値	100	—	—	—	160	平成27年度入学者数は、事業開始のため計画値と実績値の増減なし。 平成28年度から支援内容を拡充し、教育活動の効果や魅力を向上させる事で、入学者数の増加を図る。 (追加する支援) ・検定試験補助 ・模擬試験補助 ・大学見学補助 ・介護職員初任者研修補助
		実績値	100					

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成27年度実績値に対する所見
婚姻届出数	71.2件(平成22～26年平均)	400件(5年間)	目標値	80	80	80	80	80	平成27年度実績値に対する所見 平成25年度は66件、平成26年度は81件とばらつきがある。
			実績値	(見込)64					
合計特殊出生率	1.30(平成20～24年)	1.54程度(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1.54	平成27年度の出生数は87人で、前年と比べ18人減少している。 単年での評価は難しいが、出産可能な年齢の女性人口が平成24年と比較すると227人減少、特に出生率の高い25～39歳女性の減少が大きかった(181人)。
			実績値	(見込)1.16					

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成27年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援								
1) 婚活支援の推進								
すながわ出会い創出支援事業	補助金を利用した婚活事業数 ／2事業(平成27年)→5事業(平成31年)	目標値	2	—	—	—	5	支援制度及びそれぞれの団体が実施する婚活事業の周知等の実施。 セミナーの開催、ポータルサイトの設置などの検討。
		実績値	2					
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援								
1) 妊娠・出産への支援の実施								
妊婦健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用件数 ／800件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	800	平成27年度の実績値は639件を見込んでいる。 これは妊婦数の減少によるものである。 平成28年度についても同様に実施していく。
		実績値	(見込)639					
特定不妊治療費助成事業	助成を受けた者の満足度 ／70%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	70	助成を受けたのは8人で、アンケートに回答された5人中4人が満足と答えた。平成27年度の実績値は80%を見込んでいる。 本事業により経済的な負担軽減が図られたと満足度は高かった。しかし、さらなる助成拡大を望む声が多く、今後の検討課題である。
		実績値	(見込)80					
妊娠・出産支援事業	支援を受けた妊婦の割合 ／73%(平成26年)→90%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	90	支援対象157人のうち119人が支援を受けた。平成27年度の実績値は75.8%を見込んでいる。 妊婦健やかセミナー等教室への参加率は少なく、集団での支援方法に限界がある。関係機関と連携しながら、支援を必要としている人へ確実に関わりが持てるような事業展開を検討していく。
		実績値	(見込)75.8					
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／30%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	30	平成27年度の実績値は28.7%を見込んでいる。 事業初年度であり定着には時間がかかると思われる。妊娠届出時にパンフレットにより全妊婦に事業周知を図るなど今後も事業の周知を徹底していく。
		実績値	(見込)28.7					
2) 子ども・子育て支援の充実								
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育を利用した者の満足度 ／90%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	90%	未実施 (平成28年10月ごろ開設予定)
		実績値	—					
市立保育所開放事業	保育所開放事業参加親子組数 ／750組(5年間)	目標値	150組	150組	150組	150組	150組	今年度は計画値に満たなかったが、平成26年度利用組数から36組増加した。広報等での周知を行いながら利用者の増加を図る。
		実績値	98組					
市立保育所一時保育事業	一時保育年間利用児童数 ／427人(平成26年)→900人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	900人	利用者の減少は続いているが、対象者を1歳に拡大したことでの周知を図るなどして、多様化する子育てのニーズに応えていく。
		実績値	(見込)400人					
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(平成26年)→0人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	0	平成28年度から学校の余裕教室を活用し、各校区の小学校で開設することで、今後はより安全・安心な施設で児童の健全育成を図っていく。また、学校で実施することで放課後子ども教室とも連携し、子どもたちに幅広い体験を提供する。
		実績値	(見込)0					
3) 子育て世帯の経済的負担の軽減								
多子世帯保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205人	—	—	—	225人	未実施 (平成28年度より開始)
		実績値	(見込)206人					
幼稚園就園奨励事業	幼稚園在籍率 ／75%(平成26年)→83%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	83	【増減理由】通園人数が計画値よりも少なかったため 【今後の取組】平成28年度より園が実施する同補助事業に準拠するとともに、保育所との整合を図りながら保護者の経済的負担の軽減を図っていく。
		実績値	78.1					
保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205人	—	—	—	225人	計画値と実績値はほぼ増減なし。 今後は平成28年度から始まる多子世帯負担軽減事業と併せて、子育て世帯の経済的負担軽減を図り、入所児童数の増加につなげる。
		実績値	(見込)206人					
子育て支援指定ごみ袋配布事業	指定ごみ袋配布枚数 ／189,000枚(5年間)	目標値	39,000	39,000	39,000	36,000	36,000	計画値と実績値は多くの増減なし。 未申請世帯については、社会福祉課と連携し、児童手当現況届の提出の際に配付する。
		実績値	(見込)38,000					
インフルエンザ 任意予防接種費用助成事業	中学生以下の接種率 ／29%(平成26年)→50%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	50	平成27年度の実績値は48.4%を見込んでいる。 自己負担1,000円となったことで受けやすい環境が整い接種率の増加につながったと思われる。 今後も継続していく。
		実績値	(見込)48.4					

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成27年度実績値に対する所見
民間住宅助成金交付件数	80件(平成26年)	385件(5年間)	目標値	77	77	77	77	77	持ち家の取得・リフォームに対する支援を行うことで、良質な住宅の確保と安心・安全で快適に暮らせる住環境づくりに寄与している。
			実績値	94					
移住定住促進住宅入居率	0%(平成26年)	100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	平成28年度から住宅の供給を開始する予定である。
			実績値	—					

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成27年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保								
1) 医療等の充実								
中空知医療圏ネットワークシステム構築事業	連携自治体病院数 ／6自治体病院(平成31年)	目標値	6	0	0	0	0	計画値と実績値の増減なし。システム構築後、平成28年度からの運用及び稼働後の各自治体での地域包括ケアネットワークシステム構築(連携)を図る。
		実績値	6					
砂川市地域包括ケアネットワーク事業(情報共有ネットワーク事業)	共有した情報へのアクセス数 ／5,000件(5年間)	目標値	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	医療機関や介護事業所等、関係機関の通信連携に関わる協議・調整に時間を要したため、当該事業の運用開始が11月となったため。今後も在宅医療・介護の推進を図るため本システムの活用を継続する。
		実績値	(見込)450件					
2) 健康維持・増進の推進								
健康管理支援事業	各種健診受診者の割合(合計) ／29%(平成26年)→45%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	45	平成27年度の実績値は35%を見込んでいる。これは、国保特定健診及び乳幼児健診の受診率が増加したことによる。今後は、がん検診についても未受診者等対象者を明確にしながらか受診勧奨し受診率向上につなげていく。
		実績値	(見込)35.0					
3) 高齢者等の在宅生活の支援								
屋根雪下ろし等支援事業	屋根雪下ろし等補助金申請件数 ／660件(5年間)	目標値	132件	132件	132件	132件	132件	27年度からの新規事業として実施。需要動向が降雪・積雪等の気候条件による影響から不明瞭な部分もあり、ある程度多額の予算確保をしたため減となった。事業は高齢者の冬期間の安心した生活確保と事故防止に効果があったと判断しており継続実施とする。
		実績値	52件					
除雪サービス事業	除雪サービス事業利用世帯数 ／375世帯(5年間)	目標値	100件	100件	87件	87件	87件	高齢者増加に伴う需要増に加え、27年度より自己負担金を見直し(市内別居親族がいる場合30,000円→15,000円)としたことから、前年度の実績及び当初見込み件数よりは増加している。今後も高齢者の冬期間の在宅支援として継続する。
		実績値	95件					
4) JR砂川駅のバリアフリー化の検討								
JR砂川駅バリアフリー化の検討	整備されたバリアフリー設備数 ／2箇所(平成31年)	目標値	—	—	—	—	2	計画値と実績値の増減なし。平成28年度から砂川駅バリアフリー化の実現に向けてJRとの協議を進めながら計画案の具体化に向けた検討を行う。
		実績値	0					
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化								
1) 良質な住宅ストックの確保								
まちなか住まいる等住宅促進助成事業	まちなか住まいる等住宅促進助成金交付件数 ／175件(5年間)	目標値	35	35	35	35	35	申請件数の増加。持ち家の取得促進と良質な住宅の確保を図り、誰もが安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業を継続する。
		実績値	49					
永く住まいる住宅改修助成事業	永く住まいる住宅改修助成金交付件数 ／210件(5年間)	目標値	42	42	42	42	42	申請件数増。リフォーム工事への支援を行い、良質な住宅の確保と安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業を継続する。
		実績値	45					
住み替え支援事業	住情報の提供延件数 ／20件(5年間)	目標値	0	5	5	5	5	計画値と実績値の増減なし。平成27年度は事業展開の準備期間と位置付けて、関係者への聞き取り及び協力依頼、施設入居者へのアンケート調査等を実施した。平成28年度に住み替え支援協議会を立ち上げて、事業の推進を図る。
		実績値	0					
移住定住促進住宅整備事業	移住定住促進住宅入居率 ／100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	平成27年度は住宅の取得について所有者である北海道財務局と協議を進めており、平成28年度から供給を開始する予定である。
		実績値	—					
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成								
1) 他の地方公共団体と連携した施策の実施								
砂川版生涯活躍のまち(CCRC)構想の検討	連携自治体数 ／3自治体(平成31年)	目標値	—	—	—	—	3	平成27年度の取り組み実績はないが、今後、庁内会議等による関係部署と協議・検討を進める。
		実績値	0					
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保								
1) 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり								